

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 ShakeHand3.11in たからづか実行委員会

1 事業名	<u>ShakeHand3.11in たからづか</u>
2 事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	実施日；令和6（2024）年11月15（金）、16（土）日 時間；11：00～16：00 場所；ぶらざこむ1 参加人数；11/15 約60人 11/16 約40人 内容；1. デコ鮭の展示 2024年3月開催時に展示されたデコ鮭・優秀作品・有名人（西田敏行さん、山田邦子さんなどの芸能人や声優さんなど）の作品 2. 岩手県大槌町について知ってもらうコーナー 3. おばちゃんくらぶ代表によるデコ鮭ワークショップ
3 市制70周年をお祝いした内容	岩手県大槌町役場の方々の協力も受けたことで、大槌町の皆さんにも、この「宝塚市市制70周年」を知ってもらえた。ともに、お祝いの気持ちを持ちながら、事業を進められました。
4 事業の効果・成果	代表松本が担当していたエフエム宝塚の番組のコーナー「大槌町H0Tレポート」で知り合った『おおつちおばちゃんくらぶ』の震災イベント【ShakeHand3.11in おおつち】を宝塚ではじめて開催しました。 おおつちおばちゃんくらぶ代表の川原畑洋子氏を招聘し、直接、生の声を聴くことで被災地の現状、当時の様子や気持ち、復興の様子、などがリアルにわかったこと。 参加者が阪神淡路大震災の体験の話を語りだし、とてもよい空間ができました。 そこには、おばちゃんくらぶの設立のきっかけでもある、「手仕事などをしながらの他愛もないおしゃべり」が見え、誰かに想いを聴いてもらう時間の大切さについて、あらためて考えることができたと思います。 また、SNS 発信したことで、東北出身の方などの反応もあり、つながることができ、

応援していただけたことも大きな収穫と考えます。

新聞各紙（読売 11/16、毎日 11/20、神戸 11/24）に取り上げられ、当日（11/16）に読売新聞を見て訪問したという方々も多く、驚きました。イベント終了後の掲載となってしまった記事（知事選があり、載せられなかったとのことでした）については、直接、大槌町への問い合わせがあった旨、聞いています。

他には、エフエム宝塚への出演（11/16 金曜朝の番組）もあり、リスナーからの反応もよかったようです。

参加者には、ポストイットに書いた感想を、壁に描いた鮭のモチーフに貼ってしてもらいました。これをそのまま、2025 年の「ShakeHand3.11 in おおつち」に貼りだす予定で、遠い大槌の皆さんにも宝塚を感じていただけたと思います。

5 実施した安全対策

展示のみでしたので、とくにこれといった安全対策はしませんでした。ワークショップで使用するハサミや針は、常にスタッフが管理しました。